

## 対談企画第6回



# すみきしゃ 角記者が行く!

令和4年11月15日



ケアヴィラ宝塚広報委員会では、働いているスタッフと広報委員会のメンバーが対談し、仕事に対する思いや心構え、またプライベートなどの素顔に迫る対談企画を行なっています。

対談企画第6回目は、看護部代表として、山中 五月（やまなか さつき）看護部主任にお話を伺いました。どうぞお楽しみ下さい！



山中 五月（やまなか さつき）  
昭和 59年 4月 医療法人尚和会宝塚第一病院  
看護補助として勤務  
昭和 61年 3月 西宮市医師会准看護学院卒  
平成 1年 3月 兵庫県立厚生専門学校 2部卒  
平成 20年 4月 介護老人保健施設ケアヴィラ宝塚へ異動  
平成 27年 4月 看護部副主任  
平成 30年 4月 看護部主任

### 看護師を目指したきっかけ

角記者（以下、角）：今回で6回目となります、広報委員会の対談企画です。本日は、看護部主任の山中さんにお越し戴きました。緊張されているようですが・・・和やかにすすめましょう！

山中主任（以下、主任）：よろしくお願ひします。

角：まず、看護師という職業を目指したきっかけはなんですか？

主任：高校生で進路を考えた時、何か手に職をつけたいと思ったどりついたのが看護師でした。始まりはたまたまでしたが、学校に行きながら看護師として実習を重ねている時、患者様との関わりの中で「ありがとう」という言葉ひとつですごくモチベーションがあがるのを感じました。

「あ～この仕事を選んでよかったなあ」という思いを抱いた覚えがあります。

### 病院と施設の業務の違い

角：僕達もそうですね、介護のお仕事をしていると、ゲスト様のお手伝いをさせていただけたと喜びを感じる瞬間がありますね。

さて、主任は、25年の病院勤務を経てこちらの介護老人保健施設（以下、老健）に異動されました。老健での経験も長いですが、病院と老健の業務の違いを教えてくださいませんか？

主任：病院では患者様の病名があり、治療方針が決まり、それに対する看護になりますが、老健では基本的に治療が落ち着いている方が入所されます。健康な状態で入所されている中で状態が悪くなられた時に、原因を探りながらの看護、観察が必要になってきます。病院のように医師が大勢勤務している訳ではないので、ゲスト様、家族様に迷惑がかからないよう、看護師として慎重かつ、

的確な判断が求められます。

角：高齢者の方の急な体調変化に対応するのは大変なことですね。ケアスタッフとしてもゲスト様の変化を見逃さず、何かあれば看護スタッフにすぐ報告を行なうよう心がけています。

### ～療養棟とデイケア～ それぞれに求められること

角：主任は、ケアヴィラ宝塚の中で、療養棟とデイケアの両方を経験されています。業務の違いや、それぞれに求められることはどんなことでしょうか？

山中：療養棟に関しては、24時間継続して健康管理を行なうこと、家族様への連絡・対応、受診先病院との情報共有・連携、デイケアに関しては、利用時間内での健康管理、家族様や担当ケアマネージャーとの情報共有・報告などが主な役割になります。療養棟では、今日の状態をみて明日どう変化していくのかを観察できますが、デイケアに来られる方は限られた時間と情報の中で治療が必要なのか、様子観察でいいのかという判断をするので療養棟に比べるとよりスピーディーな判断が必要となってきます。



#### Photo

左:ゲスト様の検温、血圧測定など体調をチェック  
右:1階庭園の花壇、バナナの木の前で



### 嬉しかったこと、やりがいを 感じる

角：次に、看護師をしていて嬉しかったことや、やりがいを感じられたことはありますか？

主任：先ほども言いましたが、「ありがとう」という言葉を言われた時、そのひと言ですね。

角：やっぱり一番はそれですよね。長く勤められた中で思い出に残っているエピソードなどありますか？

主任：何十年前ですが、自分が二十歳そこそこの時、90代の方が骨折で入院されていました。当初、結構厳しい状態かなと思っていましたが、手術をされて車椅子だったけれどお元気に退院することができました。こんなに高齢の人でも手術をして家に帰れるんだってびっくりした記憶があります。今でこそ医療の進歩もあり超高齢化社会だからそれほど驚きは無いですが、当時、今から30年位前だったので、すごいことだなあと感激しましたね。

角：それがやりがいに繋がっている？

主任：そうですね。看護師として携わって、やはり患者様・ゲスト様が元気にご家族の元へ帰っていかれる姿を見るのは、何より喜ばしいです。

## ゲスト様対応で心がけていること

角：次に、ゲスト様対応で気をつけていることはありますか？

主任：ゲスト様にお声かけをする際に、正面から、ゆっくりと、声量は個々のゲスト様の状態に合わせて、驚かせないように声をかけることを心がけています。声が届いていないと感じたら、そっと身体に触れてみるとか、身振り手振りで伝えるとか工夫をしています。ゲスト様にとってよい看護師とは何か自問自答しながら、知識や技術など身につけていきたいと思っています。

角：日頃から主任の仕事ぶりをみてみると、ゲスト様に穏やかに優しい言葉かけをされてるなど感じます。



## プライベートあれこれ

角：ここからちょっとプライベートなお話をお聞きます。主任はテニスを習っているとお聞きました。

主任：はい。週1回テニスを習ってます。かれこれ30年くらい。

角：すごいじゃないですか！ウインブルドン出られるやん！！

主任：ほんとはそのはずだったんですけど（笑）

角：試合など出たりされてるんですか？

主任：練習しかしてないですね。スクールの中でミニテニスっていう試合はするんですけど、1ゲームくらいだね、若い子にはついていけません。ボールが早く見えなくて見えない。気がついたら通り過ぎてます（笑）

角：そうそう！僕もラグビーでお構いなしにタックルにこられるから。本格的な試合をしてみたくないですか？

主任：引っ込み思案で人見知りなのでなかなか試合に行く度胸がない。ウインブルドンはあきらめました（笑）

角：（笑）披露する場があればいいですね。ケアヴィラ宝塚テニス大会。コロナが落ち着いたら企画しましょう。

主任：そうですね。ケアヴィラで同じスクールに通っているスタッフがいるので一緒に頑張ります！

角：休日の過ごし方は？

主任：コロナ禍で最近行けていないのですが、友達と旅行に行ったり、カラオケとかですね、あとは最近ハマってるのは歩く、ウォーキングですね。頑張ってる動いてます。きっかけは、検査数値を下げるため（笑）

角：お料理とかは？

山中：料理は・・・あまりしません。たまに気が向いた時にするくらいかな。

角：僕、料理やりますけれども。

山中：あ〜いいですね。

角：たまに家内に「おとうさん今晚おかず何？」って聞かれて「逆やろっ」っ突っ込み入れてます（笑）

## ケアヴィラ宝塚の魅力

角：次にケアヴィラ宝塚の魅力について教えてくださいませんか？

主任：四季折々のお食事や、フロアの飾りなど、そういう季節を感じられるところです。病院ではクリスマスなどのイベントがありますが、色んな季節ごとというのはいまあまり見かけません。ケアヴィラ宝塚ではゲスト様に楽しんで過ごしていただけるようケアスタッフを中心として皆さん工夫されていると感じます。例えば今が2月とされている方や、一方で夏だと思っている方もいて、「今は10月ですよ」とお話をするきっかけになり、説明もできるので私達スタッフにとっても有難いです。

角：今はハロウィーンの飾りついで、11月は文化祭、ゲスト様も一緒に参加してもらってね。

その他スタッフの特徴的にアピールポイントは？

主任：病院から異動してきた時に、あいさつがしっかりできているなど感じました。「おはようございます」「お疲れさまです」当たり前のことかもしれませんが、元気に爽やかに声をかけてもらって励まされました。ゲスト様や家族様にそういう雰囲気伝わっていると嬉しいですね。

## 看護部の目指すもの

角：最後に看護部の今後の展望をお聞かせ下さい。

主任：個人的にも部署全体にもいえることですが、心にゆとりを持ち、楽しくお仕事をしていきたいですね。そして、やはり、看護師の一番大きな役割はゲスト様の健康管理だと思います。ご利用される方は、高齢者で健康を害するリスクの高い方々が多くいらっしゃいます。知識や技術を磨き、対話を大切にゲスト様が安心して楽しく施設生活を送っていただけるよう、努めていきたいと思っています。（取材日：令和4年10月28日）

### Photo:

左：インタビューの様子、エントランスホールにて

右：対談後、庭園にて・・・リラックスされた様子です。

## コロナ感染発生を体験して

角：8月末から9月始めにかけて、4階フロアでゲスト様、スタッフにコロナ感染が発生しました。主任も4階で業務に携わりましたが、体験談をお聞かせいただけますか？

主任：今回ゲスト様も感染者がでて、陽性者の方とその他の方が接触しないようビニールカーテンでエリア分けを行ないました。ゲスト様には一定期間お部屋でお過ごしいただくこととなりましたが、安全を第一優先に、感染拡大を防ぐにはどういった対応が有効か試行錯誤を重ね、最小限におさえるよう努めました。あと、夏期間だったので防護服が暑くて大変でした。でも、着用することで何としても感染拡大を防ぐ、その一心で仕事に没頭していました。皆同じ気持ちだったと思います。角：ゲスト様、スタッフ共に水分補給もしっかりとらないといけな時期に大変な経験だったと思います。

主任：ゲスト様ご家族様にはご心配とご迷惑をおかけしました。皆で今回の振り返りを行い、改善点も浮き彫りになりました。改めて感染防止に徹底して取り組んでいきたいと思っています。



## ～対談を終えて～

病院、老健と長く経験されたベテランの山中主任、終始落ち着いたお話ぶりでした。控えめな印象ですが、意外と活発な一面が見られたのは新しい発見でした。職種は違えど、部下の目標となるようこれからもお互いに切磋琢磨していきましょう。コロナが落ち着いたらぜひテニスの腕前を披露していただきたいですね（笑）

3階ケアスタッフ 角 和正